

ハンドボール

No. 9

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	地区大会

<input type="checkbox"/>	成年男子
<input type="checkbox"/>	成年女子
<input type="checkbox"/>	少年男子
<input type="checkbox"/>	少年女子

試合 番号	I
----------	---

年月日	2018 年 9 月 14 日 (金)
大会名	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018

公 式 記 録 用 紙

A		石川県										三重県				B	
福井県		永平寺町				金福 北陸電力福井体育館フレアAコート										回戦 2回戦	
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mTC	A	B			
	17	8		35	21												
7mT得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7mT得点/総数						
	4/4	1	2	3	1	2	後	3	1/2								
			29:20						07:31	25:12							

No.	石川県	G	W	2'	2"	D	DR	No.	三重県	G	W	2'	2"	D	DR
1	寺田 三友紀							1	岩見 佳音						
2	田邊 夕貴	7						2	中田 夏海						
3	鮫場 雅予	3						3	原 希美	2	1				
4	深田 彩加							4	林 美里	1					
5	塩田 沙代	1						5	多田 仁美	5					
6	八十島 智美	3						6	加藤 夕貴	2					
7	山口 絵梨香	2						7	万谷 由衣			1			
8	永田 美香	3		1	1			8	森本 方乃香	2					
9	横嶋 彩	11						9	近藤 保乃佳	2					
10	河田 智美	3						10	河嶋 英里	3					
11	秋山 なつみ	2	1	1				11	園 玲伊奈	4	1				
12	馬場 敦子							12	花村 美香						
役員A	荷川取 義浩							役員A	櫛田 亮介						
役員B	小松 真理子							役員B	梶原 晃						
役員C	北岡 克彦							役員C	佐久間 雅久						
役員D	木村 慎之介							役員D	佐野 陽子						

A	チーム役員A署名		B
特記事項			

レフェリー	白旗 成	柳谷 諒		
T D	田中 秀昭	越田 義昭		
J H Aオフィシャル				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

第73回国民体育大会 平成30年度「福井しあわせ元気」国体

試合結果・戦評報告書

競技日	H30. 9/ 13日(木) (14(金)) 15(土)・16(日)・17(月)			試合番号	C-1
会場 コート	A	福井県営体育館	種別	(成年)・少年	
	B	福井市体育館	性別	男子・(女子)	
	(C)	北陸電力福井体育館フレアAコート	回戦	一回戦・(二回戦)	
	D	北陸電力福井体育館フレアBコート		準々決勝・準決勝	
	E	永平寺緑の村ふれあいセンター		3位決定戦・決勝	
Aチーム名			Bチーム名		
石川県			三重県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
35	17	前半	8	21	
	18	後半	13		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
	7mTC				

戦評

大会2日目。成年女子の2回戦。石川県のスローオフで始まる。1回戦で福岡県を大差で降した三重県が、多数の日本代表を要する石川県に挑んだ試合は、石川⑨横嶋の得点で始まった。すぐさま三重も④林が得点し反撃を図るも、積極的にプレスし、パスカットを狙う石川の好DFから、⑪秋山、⑤塩田、②田邊などが速攻で突き放しにかかり、前半7分5対1と差が開いたところでたまたま三重がタイムアウトを要求した。しかし、その後も石川の硬いDFに阻まれ16分で10対3と石川がリードし三重が追う展開となった。三重は③原の速攻、⑩團のサイドシュートによる連取などで反撃を試みたが、やはり自力の勝る石川⑥八十島、⑩河田、②田邊などの連取で突き放し、⑫馬場の7mTの阻止もあって、前半21分過ぎで14対4とさらにリードを広げる展開となった。その後は、三重⑥加藤、⑩河嶋、⑩團などが得点し、①岩見の好セーブもあって追い上げを見せるかとも思えたが、要所要所で石川が点数を重ね、前半は17対8で折り返した。後半開始、三重が⑧森本、⑩團、⑥加藤が連取し反撃を見せたが、石川⑨横嶋、②田邊を中心に取り返し、拮抗した展開が続いた。この均衡が破れたのは21分、疲れが見えてきた三重に対し、石川の硬い守りからの②田邊、⑥八十島の速攻による連取で差が徐々に開き始め、35対21で石川が危なげなく勝利し、準々決勝に駒を進めた。

記載者氏名	山口 功治
送信日時	月 日 () :
送信者署名	